



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3 *Real Happiness is Helping Others* まことの幸福は人助けから
1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマンR.I.会長

●本日の卓話

5月21日 第322回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ

「コンピューターと私」

"Computers and Myself"

当クラブ会員
東銀システム開発(株)代表取締役社長 柳澤 昭雄 君



「椰子の実」 作詩/島崎藤村 ソングリーダー/山下忠治君 ピアノ伴奏/泉晶子さん
名も知らぬ 遠き島より
流れ寄る 椰子の実ひとつ
故郷の 岸を離れて
汝はそも 波に幾月

●先週報告

5月14日 第321回例会

■卓話「当地域の再開発について」東京ロータリークラブ会員・森ビル(株)社長 森 稔 氏

■会長報告

①当地域の優れた職業上の業績のある方表彰/(故) 森 泰吉郎 殿

森 泰吉郎殿が生前、地域社会発展のため多大の貢献をされたことに対し、故人のご功績を賛え、心から敬意と感謝の意を表し、「表彰状」と“記念品”を(故) 森 泰吉郎殿のご子息で森ビル(株)社長の森 稔氏(東京RC会員)へ贈呈いたしました。

②ダグターマンRI会長表敬式・歓迎会出席報告/5月8日(土)新高輪プリンスホテルにて

■次期会長報告(斉藤次期会長)

93年地区協議会出席報告/5月12日(水)ロイヤルパークホテルにて

■幹事・次年度幹事報告(入沢幹事・吉田次期幹事)

“第6回・新年度第1回クラブ協議会のご案内”

(と き) 6月11日(金) 例会後13:10~15:00

(ところ) 東京全日空ホテルBI八雲の間

(テーマ) 本年度各委員会活動報告と新年度各委員会活動計画

本年度最後、新年度第1回の協議会となります。万障お繰り合わせの上、全会員の出席をお願い申し上げます。なお、本年度各委員会委員長におかれましては「本年度各委員会活動報告書」を、また新年度各委員会委員長におかれましては「新年度各委員会活動計画書」を6月4日(火)までに事務局へご提出下さいますようお願い申し上げます。

■出席報告 会員72名中 出席48名、欠席24名(内出席免除者2名)/5月7日修正出席率91%
/ビジター(地方1名・都内5名、敬称略) 松本 清一(小山北)、村山 寛司(東京中央)、洗 成(東京みなと)、長谷部 信一、鈴木 治己、島村 明定(以上東京南)/ゲスト 兼平 賢司氏(相澤会員ゲスト)

●新会員ご紹介

93年5月14日ご入会



クロカワ ツヨシ
黒川 剛 君

生年月日: 1932年9月15日生(60才)

事業所名: 国際協力事業団

役 職: 理 事

所 在 地: 〒163-04 新宿区西新宿2-1-1 TEL 3346-5003

職業分類: 国際協力事業

住 所: 〒168 杉並区宮前4-9-16 TEL 3332-0316

推 薦 者: 渡邊 治君、馬場 博一君

●次回予告

5月28日 第323回例会

■卓話予定

「ヨーロッパのパズル」

東京南ロータリークラブ会員
(株)ビズ・コミュニケーションズ・ジャパン取締役 アンドレ キャラビ 氏

●5月火曜会報告

時：5月11日
於：東京全日空ホテル37階
スカイバー・アストラル

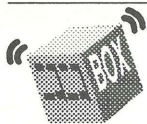
午後5：30では太陽もまださかんですが、DRINKUができることは楽しいものです。

<出席者(順不同)>廣江、平井、河原、河合、宮本、佐藤(定)、谷村、横山、荒木、相澤、
吉岡、新保、以上12名

次回6月1日(火)の火曜会は今年最後です。是非、大勢のご参加をお待ち申し上げます。

●他クラブ例会変更のお知らせ

東京西南RC 5/25(火)→夜間例会、 東京南RC 5/27(木)→夜間例会、
東京城南RC 5/27(木)→5/29、30 一泊移動例会



5月14日●13件
／¥45,000
本年度累計
／¥2,130,783

●多額のご寄付をありがとうございました。(順不同、敬称略)

森 稔(東京RC)、村山 寛司(東京国立RC)、廣江 勲、入沢 頼二、渡邊 治、梶内 滋男、
小澁 雅亮、吉田 用親、佐々木 忠行、西澤 正雄、高須 康有、山川 政樹、伊部 和夫

●オーストラリア留学を終えて

青山学院高等部3年 清家 愛

約一ヶ月前、朝も6時なんて驚異的な時間なのに、メルボルン空港にはたくさんの方が待っていてくれました。この日が怖くて、私は一ヶ月に8kgもの体重を落としてしまいました。その前の晩、マレーシア人とベルギー人の親友たちとシャンパンをあけて話明かしたけれど、時間は残酷なほど早く通り過ぎてしまうものです。学校の友達、ロータリー留学生たち、ホストファミリー、ホストクラブの人たち、みんなみんな会いに来てくれたけど、もう次に会えるのはいつのことになるのか…と思うともう胸が苦しくて苦しくて涙もつかえてしまう。いつまでもそこを動けないでわーわー泣いている私をスチュワーデスが無理矢理引っ張っていきます。シャリアンが最後に泣きながら追いかけてきて、“I love you, Ai. It's all right!”それが私の覚えているオーストラリアの最後の場面です。

今、私は、日本に帰ってきて東京で暮らすことに少し難しさを感じています。環境の違い、それから文化の違いのギャップに苦しさすら感じています。まず私の生活していたメルボルンという町は本当に静かで落ち着いていて、のどかなそれはきれいな町でした。広々としていて緑がいっぱいで、おうちもひとつひとつが本当に可愛らしいのです。30分車をとばせばCityにも行けるし、カンガルーのいるようなCountryにも行けます。東京が何だか少しさくばくとして見えて悲しくなってしまうことも度々でした。また、毎日ハグ(抱きしめること)とキスをたくさんの人にもらって、体中で愛を感じたり、机の上をとびまわって、人の目なんか気にしないでお行儀悪くしていたのに、急に敬語を使って人と歩おいて付き合ったり、人目や相手の気持ちにかなり気を使って付き合っていくことを思いださせられて、妙にあの自由さがなくなったりしてしまいます。

一年間楽しくて楽しくてしょうがなかったわけじゃないんです、もちろん。そうでない日の方が多かったかも知れませんが。最初の頃は不安で不安で怖くて心臓がはち切れそうな思いを何度もなくしてきました。きっとあんな不安なもの一生で一度くらいじゃないかと思えてしまいます。半年くらい、学校ではドキドキおどおどして、どうしてうまくいかないんだろうという葛藤の日々でした。母の手紙に“いい友達が見つかるといいね…”という言葉に“本当だよお…”と涙がこ

ぼれたりしました。

でも本当に本当にいい友達が見つかったんです。それはもうそれだけで私の留学は生涯の財産です。一生のうちでも数少ない本当に大切な友達だと思います。その子はマレーシアからの移民の子でした。一年間ずっと一番側にいて、言葉がうまく話せなくても隣にいて優しくしてくれて、ホストと喧嘩したときはぐちを聞いてくれて、寂しい気持ちはお互い一緒に、向こうがホームシックで泣いてしまうことさえあって…。でも時には私は“アジア人”であることが気になって、遠のいていったこともありました。

今、本当に自分の中にあった人種の違いに対する偏見に気づくことができ、それを一つ乗り越えることができた気がします。学校では半分以上の生徒がオーストリア人(真のオーストラリア人なんていませんが)ではありませんでした。世界が本当に近いんです。初めはこんなふうにいるんな文化のミックスであるオーストラリアを理解できず“この国ならではのものなんてないんだな”と好意を持てずにいました。でも今は、歴史が浅いから、良いものをどんどん取り入れていけるんだ、だから人がこんなに良心的なんだな…わかる気がします。日本に比べたら何もかもずっと平等で福祉なんかもとても整っているように思えました。

その反面日本の社会にはどこを見ても深い歴史が残っていて、それを一概に嫌だとか悪いとか言えないなとも思われました。でもやっぱり風通しが悪いことも確かです。そんなに慣習にしがみつかないで、人々が堂々と良心のもとに行動ができるような国になって欲しいし、していきたいです。

私はオーストラリアという国を人々を本当に愛しています。私のまわりにいた人たちは、私に抱えきれないほどの優しさと温かい気持ちと幸せをくれました。私一人では抱えきれないから、私もこの世の中にいる全ての人たちに分けてあげたいんです。国境なんて本当に関係ないんです。

こんなに素晴らしい感動で一杯の一年を私に与えてそして支えて下さった皆様には、一生かかっても感謝しきれません。私の全てにかけてこの一年で学んだものをこれからの力として、決して無駄にするようなことはしません。私の人生、もう私だけのものじゃない気がするんです。本当にほんとうにありがとうございました。ここから感謝しています。

東京新南ロータリークラブ

会長：柴本芳郎 副会長：宮武保義 幹事：入沢頼二
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

青野 信次、大日方 真、田中 武
荒木 昭文

●5月度編集担当者/新保 國彦

●卓話テーマ翻訳/渡部 一元

●印刷/豊園堂印刷(株)